

知っておきたい！

防災 減災 知恵袋



Vol.19 自主防災組織の活動事例

このような活動を繰り返して行くことで、災害時に落ち着いて行動でき、自分の命、家族の命を守ることに繋がります。

お住まいの地域で自主防災組織が無ければ、自主防災組織の結成についても検討しながら、地域住民のみならずと協力して日頃からの防災活動を心がけましょう。

中村勲会長を中心に町内の危険箇所(point check)や、消防職員を講師に消火器の使用方法や心肺蘇生法の習得等、日頃から住民の皆様の防災意識を高める活動を行なっています。

10月には、会長宅の敷地の一部に、災害時に誰でも利用できる避難場所を整備し、避難場所表示看板を自主的に設置し、災害時に積極的に避難できるような取り組みも行っていきます。



自 自主防災組織は、災害が発生した際に円滑な避難行動等ができるよう日頃から防災活動を行なっています。

今回は新女館町内会、女館高台町内会の両町

台自主防災組織をご紹介します。

自主防災組織とは？

地域住民が自発的に連帯して防災活動を行う任意団体のことをいいます。

万が一の災害発生時に活かされる平常時の活動、たとえば地域住民への防災意識の普及や要配慮

者の情報確認など、このような活動を地域で円滑に行うために、自主防災組織が注目されています。是非とも自主防災組織を結成し、災害時に落ち着いて行動できるよう地域住民と協力しながら日頃からの防災活動を心がけましょう。

市では、結成された団体に対し、日頃の防災活動や訓練に役立つ資機材を給付するなどの支援をしています。結成方法や資機材給付のご相談などお気軽にお問い合わせください。

問 防災安全課

内線 2134